

読者ひろば

主張 提言

高谷和生 63

市民団体代表(玉名市) 錦町が8月にオープンさせた「人吉海軍航空基地資料館」を訪れた。館内展示や壕見学を通し、平和資料館の姿をいま一度考えてみたい。

本資料館は約3年にも及ぶ市民グループの現地、文献調査や町の調査などを経て、国の交付金などを活用し開館した。戦争遺跡の保護や活用の困難さが指摘される中、自治体設置の資料館は県内初。まずは錦町の英断を高く評価し

戦争資料館に求められるもの

たい。

一方で、問題点も見受けられる。町が基地跡とする範囲には、隣接の第二海軍航空廠人吉分工場や佐世保鎮守府軍需部壕が含まれる。戦争遺跡の調査・保存等にかかわってきた立場から、私はかねて広域すぎると指摘してきた。

また、壕の構造調査や各壕を対比検証する手だてが省かれ、展示されている墜落零戦機についても、私たちが特定困難とした複数の資料に部位の表記がなされている。その根拠の公開も必要ではないか。「ひみつ基地ミュージアム」という施設の愛称に対しても、違和感を覚える人は少なくない。

かつて沖繩では「戦争の商

品化」が取り沙汰された。先の大戦への謙虚な反省や体験者の願いを軽んじ、戦跡等の専門調査や歴史的背景がおざなりとなり、過度な観光化が問題となった。戦争遺跡(平和)資料館のあるべき姿は、平和の大切さを基盤とした戦争の実相解明と来館者への平和継続への学びの機会提供である。

愛知県豊川市では今年6月、20有余年にわたる市民グループの取り組みが結実し、公設の「豊川海軍工廠平和公園・交流館」として開所した。錦町には観光客の誘致のみを求めるのではなく、歴史事実と平和を基盤とした過去の教訓の学びにより、質の高い観光の提供を願っている。

投稿される方へ

「読者ひろば」への投稿は4000～6000字。「主張・提言」に採用することもあります。◇欄外に郵便番号、住所、ファート・マンション名も、氏名、年齢、職業(無職の方は元職でも可)、電話番号を明記する◇趣旨を変えず文章を直すことあります◇原稿は返却しません。◇二重投稿、採否の理由等の問い合わせはお断りします。匿名は不採用です。掲載分には薄謝を送ります。

◇モノクロ作品募集 「私の一字」 好きな文字一字を書き、その理由も。「モノクロギャラリー」イラスト、写真など、タイトルを付けて。はがき、封書、メールで年齢、職業も忘れずに。作品は返却しません。あて先は①郵送〒860-0800 熊本市中央区世安町172、熊日「読者ひろば」係②ファクス 096(3333)1268③メール hiroba@kumamichi.co.jp